

2026

2.25 (水) 12:10
12:50

12:10-12:15

◆発表者紹介

12:15-12:40

◆プレゼン

12:40-12:50

◆質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_3cXdzEUVTfY0z1ep0bTmQ

【技術支援】九州大学 Q-AOS

韓国語から広がる知の地平： その魅力と魔力



Key Words

言語学

韓国語

ハンゲル

言語学習

辻野 裕紀 准教授

九州大学 言語文化研究院 言語環境学部門

愛知県名古屋市生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。博士(文学)。誠信女子大学校(韓国・ソウル)専任講師を経て、2012年4月、九州大学大学院言語文化研究院に専任講師として着任しました。2015年4月から准教授、2017年4月からは大学院地球社会統合科学府准教授、2022年4月からは韓国研究センター副センター長も兼任しています。専門は言語学、韓国語学、音韻論、言語思想論。言語学を中心とした人文学的視座から韓国語や日本語、言語一般を広く眺め、その成果を研究・教育に反映させようと日々研鑽を積んでいます。2025年度前期にはNHKラジオ「まいにちハンゲル講座」講師を務めました。著書に『形と形が出合うとき：現代韓国語の形態音韻論的研究』(九州大学出版会、2021年)などがあります。

かつて「近くて遠い国」と呼ばれた韓国は、音楽やドラマ、映画、文学などといったカルチャーを主たる契機として今や「近くて近い国」になりました。それにともない、韓国語を学ぶ人も年々増えています。しかしながら、多くの場合、韓国語はどこまでも文化理解やコミュニケーションのツールとしてのみ位置づけられ、韓国語それ自体の面白さについて語られることは決して多くありません。本セミナーでは、韓国語やハンゲルを言語学的な観点から照らし、その魅力と魔力を皆さまとともに考えます。